

## 明和中学校区におけるキャリア教育の取組について

キャリア教育の推進について、「第2期群馬県教育振興基本計画」の取組1（時代に応じたキャリア教育の充実）や平成28年度学校教育の指針の「学校経営の重点」に示されているとおり、各学校での取組の充実が求められています。

明和中学校区（明和中学校、明和東小学校、明和西小学校）では、平成26年度より群馬県キャリア教育推進事業地区指定を受け、学校、家庭、地域が一体となり義務教育9年間を見通したキャリア教育の実践研究を進めてきました。今年度はその最終年次として、各学校において公開授業・授業研究会を開催しました。

明和中学校区におけるこれまでの取組の概要と公開授業の様子について紹介します。

### 〔明和中学校区の取組〕

#### 研究主題

**自分と社会をつなぎ未来を切り開くキャリア教育の推進  
-「課題対応能力」の高まりを見取る授業の工夫を通して-**

### 《明和中学校区における3年間の主な取組の概要(町としての共通理解・共通実践)》

I 基礎的・汎用的能力の実態調査〔キャリア教育の手引き（文科省）のキャリアアンケート参照〕


II 各学校ごとに全職員で話し合いをもって課題を明確にし、育成すべき能力の重点化を図る。

＝「課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を適切に処理し、解決する力」  
＝「基礎的・汎用的能力」の『課題対応能力』に課題があることを明らかにする。

III 全体計画の見直し・教育活動の中にあるキャリア教育の断片をつなげる年間指導計画の改善

- ・各教科における課題対応能力を具現化
- ・キャリア教育の視点に立った課題解決型の授業実践

#### 〔全体計画見直しのポイント（発表資料より）〕




1. 把握した課題から目指す生徒像（目標）を設定
2. 既存の学校教育目標との関係を整理
3. 目指す生徒像（目標）を受けて、基礎的・汎用的能力の4領域に目標を細分化（課題対応能力に重点）
4. 各教科や行事等の関係を整理

**【作成のポイント】**

- ・目標を「見える化」する
- ・目標の関係を整理する
- ・目標を共有する

#### 〔年間指導計画改善のポイント（発表資料より）〕



1. 教科ごとに年計を確認し、基礎的・汎用的能力に沿って単元を整理
2. 教科ごとに洗い出した情報を一覧に整理
3. 目指す生徒像に関わる領域を重点化

**【作成のポイント】**

- ・他教科とのつながりが見える  
→学年毎にまとめる
- ・特に関わりの強い単元のみ表記する
- ・実施時期が把握できる

〔全体計画及び年間指導計画については、各学校（東部管内）にメールで配布をしてあります。また、上記の発表資料を含め、明和中学校区で作成してきた資料等の一部は、後日、東部教育事務所HPに掲載予定です。〕

# 公開授業

明和中学校〔平成28年10月4日（火）〕 授業者 早川 裕彬 教諭

教科 美術

単元名 生活を彩る文様（全6時間計画 本時はその4時間目）

## 授業の様子

### 1 本時の活動とねらいを確認

よりよいデザインとなるように、試しの活動を通して文様の配置や組み合わせを追求しよう。

### 2 活動の方法について知る

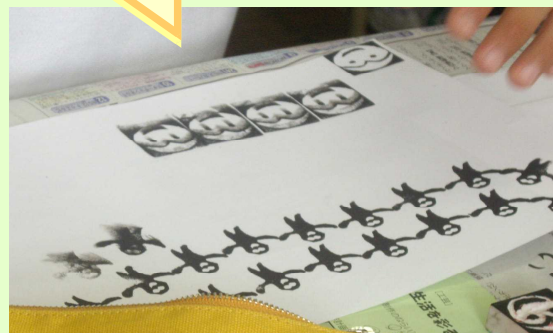


### 3 制作した印を試しながらアイデアスケッチのデザインを試作したり、試作する中で生まれた新たな発想を試したりしてよりよい表現を追求する。

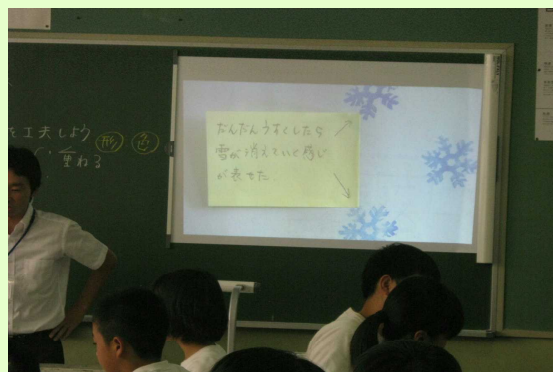


「友達の押し方が面白い。参考にしてみよう！」

「色々試していたら偶然面白いデザインが見つかった。このデザインを生かしてみよう！」



### 4 生かしたい表現について、工夫したことや発見したことを付箋に言葉でまとめ、整理するとともに、まとめたことを発表し合い共有する。そして、試しの活動をまとめ、構想を練り上げる。



### 《キャリア教育との関わり》

本題材では、誰が、どのように使うかなどの目的と美しさを考えながら手ぬぐいに施す装飾のデザインを構想する活動を行った。これは、目的を達成するために課題を分析し、解決の方法を検討する活動であり、課題対応能力の育成につながると考える。

### 《参加者の声》

- 学力向上が求められる中、キャリア教育のあり方、捉え方、そして具体的実践例を学ぶことができた。
- 日々の授業を充実させること、それをキャリア教育の視点で見直すこと、そして学校全体で取り組むことが学校としてのキャリア教育になると思った。
- キャリア教育をどのように各教科の授業に取り入れていくか、学校教育全体でどのように取り組んでいくのか、全体計画や年間指導計画をどのように作成するのかが具体的でよく分かった。

# 明和西小学校〔平成28年10月19日（水）〕 授業者 片柳 進 教諭

教科 社会

単元名 伝統を受けつぐ「高崎市のだるまづくり」(全8時間計画 本時はその2時間目)

## 授業の様子

### 1 本単元の学習課題を確認

高崎だるまづくりのひみつを  
さぐりに行こう

### 2 掲示された写真資料を見て、どんなことを調べていくのか考える。



### 3 学習課題について調べたいことを考える。



「どうして高崎でのだるまづくりは  
200年以上も続いてきたのかな？」  
「なぜ、だるまづくりは冬に行われ  
るのだろう？」

### 4 調べたいことを各自、付箋に書き出した後、書き出したことをグループで交流する。さらに分類された内容ごとに調べる手だてを考える。



「作る人たちはどんな思いや願いをも  
ってだるまを作っているのか、イン  
タビューをして聞いてみよう!!」



### 《キャリア教育との関わり》

単元全体の学習課題に対して、個人からグループ、全体へと互いの考えを交流し合いながら自分と異なる考え方や視点があることに気づき、そこから必要な情報を主体的に選択し、調べる手だてを考える活動は、課題に対して自ら取り組む児童の育成につながると考える。

### 《参加者の声》

- 公開授業を参観し、教科とキャリア教育の関連を具体的に知ることができた。
- キャリア教育の在り方が分かった。改めてキャリア教育を始めるのではなく、(教科の指導内容とキャリア教育の)重なる部分を見つけ、キャリア教育の視点をもって授業にあたりたい。
- (実践発表で)個々での取組は断片で、全体での取組が大切という言葉が印象的で、はっとさせられた。学校で他の先生方に伝えたい。

# 明和東小学校〔平成28年10月26日（水）〕 授業者 檀原 淳子 教諭

教科 国語

単元名 「スポーツリーフレット」を作ろう(全8時間計画 本時はその6時間目)

教材名 「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」(光村図書4年)

## 授業の様子

### 1 本単元の課題をつかむ

友達の考えを取り入れて、選手のよさがよりよく伝わるしょうかい文を書こう。



### 2 グループ内で選手紹介文を交換して読み合い、付箋紙にアドバイスを書く。(個人)



「中の段落で、何か例を挙げた方がいいと思います。」

「文章が長いので、もっと短くして、伝えたいことをはっきりさせた方がいいと思います。」

### 3 付箋紙に書いたことを基に、修正点を話し合う。(グループ)



「ここは〇〇選手が好きな気持ちが伝わってきていいね。」

「オリンピックでの活躍のことも書いてみたらどうかな。」

### 4 修正した文章を発表する。



#### 《キャリア教育との関わり》

自分の選んだスポーツ選手のよさを3年生に伝えるために、リーフレットの文章を見直す場面において、グループの友達と文章を読み合い、付箋を活用して自分の考えを相手に伝えたり、友達の考えを取り入れたりすることで、より分かりやすい紹介文を書こうと主体的に取り組む「課題対応能力」を育成することができると考える。

#### 《参加者の声》

○キャリア教育を日々の授業において意識することで、学力向上にキャリア教育がつながるのだという話があり、子どもにしっかりと力を付けることのできる研修だと感じた。

○「教師がキャリア教育を知り、キャリア教育の断片をさがす」ことが、どれだけキャリア教育を発展させるか知った。

○明和東小さんの年計を参考に、自校の年計をもう一度見直したい。